

2018年5月29日

各 位

興和株式会社
興和創薬株式会社**高脂血症治療剤「パルモディア[®]錠0.1mg」
新発売のお知らせ**

興和株式会社（本社：名古屋市中区、社長：三輪芳弘、以下「興和」）は、高脂血症治療剤「パルモディア[®]錠0.1mg（一般名：ペマフィブラート）」について、2018年6月1日付で新発売いたしますのでお知らせいたします。

「パルモディア[®]錠0.1mg」は、高活性かつ高選択なPPAR α モジュレーター（Selective Peroxisome Proliferator-Activated Receptor α Modulator、呼称名：SPPARM α ・スパームアルファ）の概念に基づいて、興和が世界ではじめて自社創製した高脂血症治療剤です。遺伝子発現を制御する核内受容体PPAR α を高い選択性をもって、非常に低用量から活性化することで、血中の中性脂肪（トリグリセライド：TG）低下作用とHDL-コレステロール増加作用等を有することが示されています。

国内で実施した脂質異常症患者を対象とした臨床試験において、強いTG低下作用とHDL-コレステロール増加作用が確認され、肝逸脱酵素を低下させることも確認されました。また、各種スタチン製剤との薬物相互作用の検討では、双方の薬剤血中濃度に変化がないことが確認されました。なお、複数の試験で優れた忍容性が確認されています。

新たな作用機序を持つ本剤の選択肢を医療現場に提供することで、約3,300万人と試算される高中性脂肪血症の方々の治療に貢献していくことができるものと期待しています。

また本剤の海外における開発状況としては、心血管疾患発症・再発予防を目的としたグローバル臨床試験（以下、「PROMINENT試験」）や重症高TG血症患者を対象とした臨床試験を実施しています。今後、高コレステロール血症治療剤「リバロ錠」に続くグローバル戦略品として位置づける本剤の、グローバルでのいち早い上市を目指してまいります。

以 上

■ 「パルモディア®錠 0.1mg」 製品概要

販売名	パルモディア®錠 0.1mg （一般名：ペマフィブラート）
効能・効果	高脂血症（家族性を含む）
用法・用量	通常、成人にはペマフィブラートとして1回0.1mgを1日2回朝夕に経口投与する。なお、年齢、症状に応じて適宜増減するが、最大用量は1回0.2mgを1日2回までとする。
包装	PTP：100錠、プラスチックボトル：500錠
薬価	0.1mg 1錠 33.90円
製造販売承認日	2017年7月3日
薬価基準収載日	2018年5月22日
発売日	2018年6月1日
製造販売元	興和株式会社
販売元	興和創薬株式会社

■ 「パルモディア®錠 0.1mg」 製剤写真



■ペルオキシソーム増殖剤活性化レセプター α (PPAR α)

PPAR α (Peroxisome Proliferator-Activated Receptor α) は、肝臓や褐色脂肪、心臓、腎臓で強く発現している核内受容体 (タンパク質) で、活性化することでTG濃度の低下などを導きます。

■選択的PPAR α モジュレーター (SPPARM α)

SPPARM α (Selective Peroxisome Proliferator-Activated Receptor α Modulator: SPPARM α , スパームアルファ) は、PPAR α を介した遺伝子の転写調節を選択的に行うことにより、従来のPPAR α アゴニストのベネフィットを高め、リスクを軽減することを目指した薬剤です¹⁾。

1) Cardiovascular Diabetology (2013)12:82.

■PROMINENT試験


PROMINENT試験 (**P**emafibrate to **R**educe cardiovascular **O**utco**M**es by reducing triglycerides **I**N pati**E**Nts With diabe**T**es) は、日本を含む世界24ヶ国、700以上の施設から約1万人の患者さんが参加予定の多施設共同無作為化二重盲検プラセボ対照試験です。

スタチン治療により未だ残余リスクとされる「心血管イベント」の発症リスクが解消されていない状況にあるといわれています。

同リスクが高いと考えられている血中TG値が高く、かつHDL-コレステロール値が低い2型糖尿病患者を対象として、心血管疾患発症・再発に係る抑制効果について評価します。

興和は、米国ボストンのブリガム・アンド・ウィメンズ病院内にある心血管疾患予防研究所 (Center for Cardiovascular Disease Prevention、以下、「CCVDP」) と業務委受託契約を締結しています。

CCVDPがPROMINENT試験の治験実施計画書の作成から試験運営に係るサポート、および科学的なリーダーシップを務め、興和は、米国の開発子会社である「Kowa Research Institute, Inc.」が直接の担当となり開発業務を進めています。

 興和株式会社	広報部 (東京)	東京都中央区日本橋本町 3-4-14 TEL : 03-3279-7392
	本店 (名古屋)	名古屋市中区錦 3-6-29